



## 8/26に開催されたホストタウンイベントに参加した各国大使と自治体首長

(前段左から) アゼルバイジャン イスマイルザーデ大使、キルギス オソエフ大使、中島プロデューサー、  
自見博覧会担当大臣、松原市 澤井市長、南砺市 田中市長  
(後段左から) オーストリア ハイスラー公使、エジプト エルサイド参事官、イブラヒム参事官、  
エルサルバドル がメロ参事官、タジキスタン ファルホド大使、ボリビア バルデラマ臨時代理大使、  
大磯町 池田町長、三島市 豊岡市長、杵築市永松市長、坪井氏、那須塩原市 渡辺市長、  
三島村 宮田副村長、万博事務局 井上次長



7月26日の勉強会、万博リング視察、国際交流・親睦会の三部からなる機運醸成プロジェクトには、北は北海道、南は九州に至るまで全国より約100の首長の皆様に参加くださり、全国的な万博への期待の高まりを感じました。

万博は全国地域が主役となって地域を活性化できる絶好の機会ですが、ただ開催を待っているだけでは何も変わりません。地域にこそ日本の宝があり、各地域が主体的に何ができるかを考え取り組むことで、地域活性化につながっていきます。

引き続き、全国に広がる当連合のネットワークを活用し、万博を盛り上げるとともに、日本を元気にしてまいります！

**万博首長連合 会長 澤井宏文（松原市長）**

7月26日に万博首長連合に加盟されている全国の首長で、大屋根（リング）視察を行いました。まさしく百聞は一見にしかずで、想像以上に会場が整備されている様子に驚きました。

ハードからソフトへ。運営面など課題も多いですが、その分観光、文化、産業など様々な分野で日本の地域が注目されるチャンスも到来します。富山、北陸からもどんどん盛り上げていきますのでご期待ください！

日本各地のみなさん、万博という千載一遇のこのチャンスを一緒に盛り上げていきましょう！

**万博首長連合 会長代行 田中幹夫（南砺市長）**

## ~~~~~今週の週報の内容~~~~~

### 1. 海外パビリオンの状況

- 8/22 ポルトガルが起工式を実施
- 8/24 北欧5か国が建設状況をSNSに公開
- 8/22 駐日シンガポール大使館が建国記念レセプションでパビリオン紹介

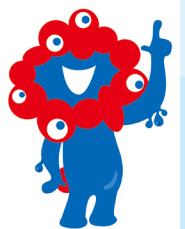
### 2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- 8/21 大屋根リングの木造建築部分の工事が完成
- 8/19 万博向けキャッシュレス・サービスとJALマイレージ・サービスの連動企画を発表
- 8/21 阪神対ヤクルト戦を「EXPOナイター」として開催
- 8/23 埋立地の一部で発生するメタンガスのデータを公表
- 8/25 TIVCAD閣僚会合に石井政務官・マクミックが登壇
- 8/26 9/30-10/5まで、万博期間中の混雑緩和策の社会実験の実施を発表

### 3. 販売・募集の状況

- チケット販売: 450万1596枚 (8/21 現在)

**万博を契機に  
国際交流！**



今週の大阪・関西万博 **週報** (8/20~8/26)  
～ 開催まであと**229**日です! ～



## 1. 海外パビリオンの状況

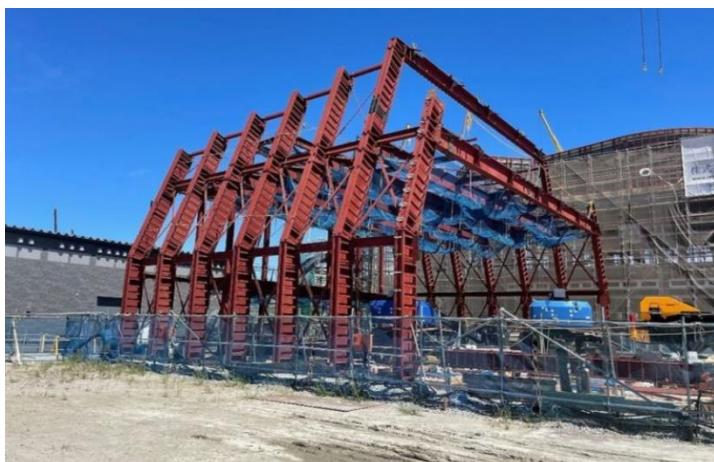
□ 8/22(木)、ポルトガルが起工式を実施。設計は日本を代表する建築家の隈研吾氏。パビリオンのテーマは「大海：青い対話(Ocean: The Blue Dialogue)」。「持続可能性」と「循環型経済」を主題に。



出典：<https://www.instagram.com/portugalexpo2025/>



□ 8/24(土)、北欧五ヶ国 (デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン)の共同パビリオン (「ノルディック・サークル」と呼称) が SNS で建設状況を公開。五ヶ国が協力して、革新的で持続可能な未来の創造を表現。



出典：左 <https://www.instagram.com/nordicexpo2025osaka>

右 <https://www.thenordics-exposaka.com/>



□ 8/22 (木)、駐日シンガポール大使館は、都内で行われた同国の建国記念レセプションでパビリオンを紹介。テーマは「ゆめ・つなぐ・みらい」。夢が持つ無限の可能性を探求し、未来に向けた行動を喚起することを企図。



(左：22日 シンガポールナショナルデーレセプション@帝国ホテル)

(右：20日 自見大臣とオン・駐日シンガポール大使の会見)

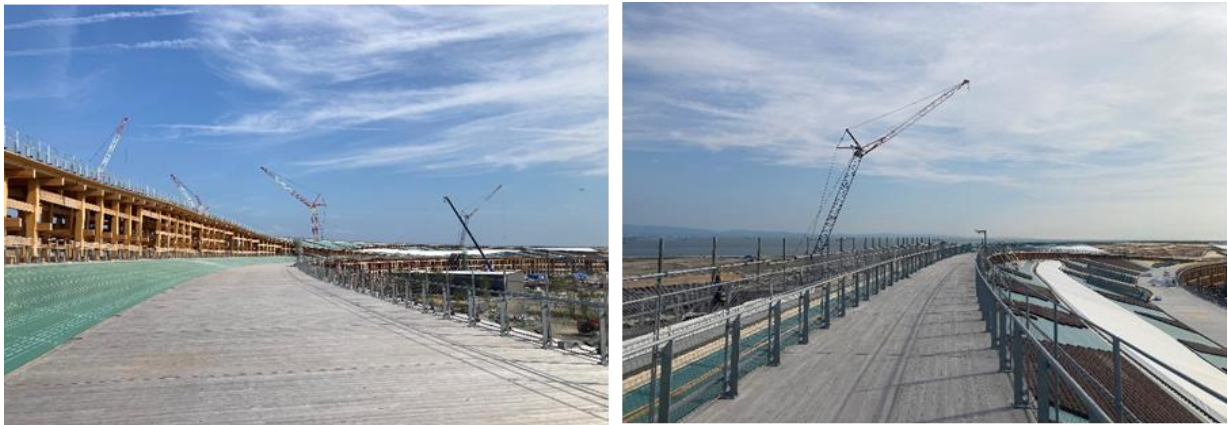
【現在の参加国等の状況】 (8月26日現在)

- ・ 161 各国・9 国際機関が参加表明済み。  
うち、公式参加契約締結国数：125 各国・5 国際機関
  
- うち、
- ・ 各国独自パビリオン (タイプ A (47 各国)、タイプ X (5 各国))：52 各国
- ※ タイプ A 国 47 各国のうち、
  - ・ 施工事業者が決まった国：43 各国
  - ・ 着工済みの国：40 各国
  
- ・ 協会用意の単独館 (タイプ B)：17 各国
- ・ 協会用意の共同館 (タイプ C)：92 各国

## 2. 今週・先週の主な活動

□ 8/21（水）、万博会場のシンボルであり、世界最大級の木造建築物となる「大屋根リング」の木造建築部分の工事が完成。1周約2kmの大屋根が一つに連結。今後は開幕までに、大屋根へ昇降するためのエレベーター／エスカレーターの設置、屋上の緑化などの工事を実施予定。

（スカイウォーク：撮影 2024年8月9日）



（会場建設の状況：撮影 2024年8月20日）



(参考) 大屋根リング

- 大屋根リングは、「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表した会場のシンボルで、完成時には世界最大級の木造建築物となる。
- 日本の神社仏閣などの建築に使用されてきた伝統的な貫（ぬき）接合に、現代の工法を加えて建築。
- リング屋上からは会場全体を見渡すことができ、リングの外側には、瀬戸内海の豊かな自然（夕方には夕日を浴びた光景）や大阪の街並みなどが眺望でき、海と空に囲まれた万博会場の魅力を体感できる。
- 「リング」の内径は約 615m（外径：約 675m）、来場者が歩くことができるスカイウォークの高さは 12m（外側：20m）、幅は 30mとなっている。

(参考：リング内側の面積は東京ドーム約 6 個分)

【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240821-01/>

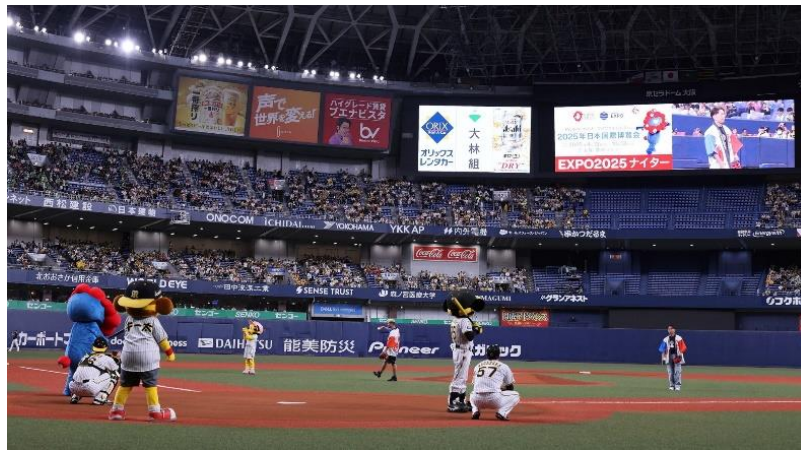
□ 8/19（月）、博覧会協会は、万博向けキャッシュレス・サービスと日本航空（JAL）のマイレージ・サービスを連動させるコラボ企画を新たに発表。

- 「EXPO 2025 デジタル・ウォレット」専用アプリをダウンロードした JAL マイレージクラブ会員に対し各種の特典を付与。（期間は本年 8 月 15 日から 10 月 15 日まで）
- 特典は以下のとおり。
  - ① 全員に「特別な NFT」を贈呈。
  - ② 抽選で 33 名に JAL マイルを贈呈。
    - （1 等：50,000 マイル（3 名）
    - 2 等：2,000 マイル（10 名）
    - 3 等：500 マイル（20 名）



【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240819-01/>

- 8/21（水）、京セラドーム大阪でのプロ野球セリーグ公式戦「阪神 対 ヤクルト戦」を「EXPO 2025 ナイター」として開催。公式キャラクター「ミャクミャク」も登場し、人気ヒップホップ・グループの DOBERMAN INFINITY の二人とともに、始球式や記念品贈呈式を実施。



【写真提供】博覧会協会

- 8/23（金）、博覧会協会は、埋立地の一部で発生するメタンガスの詳細な濃度測定結果（6月分とそれ以前のデータ）をとりまとめて公表。去る6/24に公表した安全対策を踏まえた情報提供の一環。

【出典】<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240823-05/>

- 8/25（日）、都内で開催された「アフリカ開発会議（TICAD）」の閣僚会合に石井経済産業政務官がミャクミャクとともに登壇。参加したアフリカ各国の閣僚に対して万博への来場を呼びかけ。会場内に万博 PR ブースも設置。



□ 8/26（月）、大阪府市、博覧会協会、関連する大阪の経済団体（関経連等）は、万博期間中の混雑緩和策の有効性を確認するための「社会実験」（トライアル）を実施する旨を決定。期間は、本年9/30（月）から10/4（金）までの5日間。試験的・集中的に時差出勤や自宅でのテレワーク等を行うよう企業に自主的な協力を要請。大阪府市や博覧会協会は、午前中の混雑時間帯（8～10時台）における通勤の7割削減を目指す。（事後に「効果」を検証予定。）

中央線・御堂筋線をご利用のみならずへ 2025年の大阪・関西万博に向け

**交通混雑回避のトライアルにご協力をお願いします**

**TDMトライアル期間**  
2024 **9.30**(月) ▶ **10.4**(金)

大阪・関西混雑緩和中は、平日朝ピーク(8時台～10時台)の交通混雑が予想されます。

【出展】 [https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/siryou\\_240826\\_TDMkaigi\\_set.pdf](https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/siryou_240826_TDMkaigi_set.pdf)

### 3. チケット販売の状況

◇ チケット販売枚数 : 450万1,596枚 (2024年8月21日現在)

#### 4. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

##### (1) 「タイプA」跡地、人工芝で整備 熱中症の拡大懸念

###### 指摘事項

- 博覧会協会は「タイプA」建設を断念した国の敷地の跡地(複数)に人工芝を整備する方針だが、人工芝は夏場には約60度を超える高い熱を帯びることもあり、来場者が休憩することは困難ではないか。

###### 【事実関係】

- タイプA跡地の空き地となった場所に休憩スペースとして人工芝を整備する予定であることは事実。
- 会場内の休憩スペースで採用する予定の人工芝は、通常の人工芝よりも保水性があり、温度抑制効果が期待できるものを選定。
- 加えて、暑熱対策として、休憩スペースにはテント屋根や冷風機を設置するなど来場者がより快適に休憩いただけるよう配慮する方針。

##### (2) 万博会場のペット同伴入場に関して

###### 指摘事項

- 万博会場へのペット同伴入場に関して、見送りの方向で調整に入ったとの報道があるが事実関係如何。

###### 【事実関係】

- 9月13日に実施される博覧会協会の理事会の中で議論されるものと承知。現時点において、万博会場へのペット同伴入場について見送りを決定した事実はない。

##### (3) 万博関連予算について

###### 指摘事項

- 経済産業省が2025年度予算案の概算要求で大阪・関西万博向けに312億円を計上するとの報道があるが事実関係如何。

###### 【事実関係】

- 2025年度当初予算案の概算要求に向けたプロセスが各省で進行中。
- 具体的な金額等は概算要求のとりまとめに向けて現在調整中であり、コメントできない。
- いずれにしても、既に公表している「万博費用の総額」の範囲内での対応であり、2025年度当初予算の中で一定の金額を要求するのは、従前から織り込み済の既定方針である。予算の増額や新たな費用が発生したものではない。